

(別紙4(2))

事業所名 グループホームはぎ喜ら里

作成日: 令和4年5月24日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の目的の一つである「目標達成計画の進捗評価」が実施されていない。紙上開催であったとしても、職員が評価を行って、会議メンバーに報告することが望ましい。	今後は感染状況をみながら、紙上開催か実際の推進会議を行うかを判断していく必要があるが、職員が達成計画の評価を行う仕組みづくりと推進メンバーに報告する機会を作っていきたい。	2か月ごとにある運営推進会議の実施のタイミングで目標達成計画の進捗評価と報告を行っていく。	6ヶ月
2	10	コロナ収束後に後に適切な家族対応が可能となるよう、今から準備を整えておく必要がある。	コロナが収束してからも感染症対策をしつつ、安心、安全面に最大限注意を払いながら、ご利用者とご家族が、今後も適度に関わりを持ってもらうような支援、環境づくりを施設として行っていきたい。	利用者様との日々のやり取りの中で、気持ちや思いを汲んで、職員一同で共有し、家族に適宜発信できるようにしていきたい。家族の思い、意向も確認したうえで安全で満足できる関わり(オンラインTV電話や、時間制限のある実際の面会)を持ってもらう支援、環境づくりを行う。	12ヶ月
3	35	BCP(事業継続計画)の作成にあたり、ホームの実情に合わせて作成するとともに、感染症BCPも作成することが望ましい。	BCPの作成(自然災害編と新型コロナウイルス感染症編)を行い、職員間で課題について話し合い、周知していく必要がある。	施設で行うケア会議にて、BCPを議題として取り上げ、職員間で話し合いを重ねて意識統一、周知していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。